

入学者受入の方針（アドミSSION・ポリシー）：総合科学研究科 地域創生専攻

1. 人材育成目的

東日本大震災からの復興への取組実績等を発展させ、地方を念頭においた産業の振興、安全安心な社会の実現、住民の心身の健康の確保等を担うために必要な高度な専門知識・技能と総合的な視野を有し、持続可能な地域社会の創生に貢献するとともにこれらの成果を世界に発信できる高度専門職業人・研究者を養成することを目的としています。

2. 入学者に求める資質

①知識・技能・理解

- ・ 研究・学修に必要な専門基礎学力を有する人

②思考力・判断力・表現力

- ・ 倫理性を持ち、高度なコミュニケーション力を有する人

③関心・意欲

- ・ 地域課題に強い関心を持ち、課題解決に向かって高いモチベーションを有する人

④主体性・協働性

- ・ 自分の考えを他者に正確に理解してもらえるコミュニケーションスキルを有する人

3. 入学前に修得しておくことを期待する内容

大学院において専門的な学術研究に従事していくための基礎的な知識を修得していること。

4. 入学者選抜の基本方針

(1) 一般入試

筆記試験、面接又はプレゼンテーション、出願書類により「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。

(2) 推薦入試

面接（口頭試問又はプレゼンテーション試験を含む）、出願書類により、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協調性」を評価します。

(3) 社会人入試

筆記試験、口頭試問又はプレゼンテーション、出願書類により「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。

(4) 外国人留学生入試

筆記試験、口頭試問又はプレゼンテーション、出願書類により「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。

入学者選抜試験の検査方法と評価要素

		知識・技能・ 理解	思考力・判断 力・表現力	関心・意欲	主体性・ 協働性	備考
一般 入試	筆記試験（小論文を含む）	○	○	○		※1
	プレゼンテーション	○	○	○	○	※2
	面接	○	○	○	○	
	出願書類	○	○	○	○	※3
推薦 入試	面接（口頭試問又はプレゼンテーション試験を含む）	○	○	○	○	
	出願書類	○	○	○	○	※3
社会 人入 試	筆記試験（小論文を含む）	○	○	○		※4
	口頭試問又はプレゼンテーション試験	○	○	○	○	※5
	出願書類	○	○	○	○	※3
外国 人入 試	筆記試験	○	○			※6
	口頭試問又はプレゼンテーション試験	○	○	○	○	※7
	出願書類	○	○	○	○	※3

※1 金型・鋳造プログラムでは小論文も実施。

※2 防災・まちづくりプログラムにおいて実施。（面接なし）

※3 地域経済総合プログラム、地域マネジメントプログラム、行動科学プログラム、臨床心理学プログラム（一般選抜及び社会人選抜のみ）及びスポーツ健康科学プログラムは、研究計画書等を提出。

※4 筆記試験は、地域経済総合プログラム、地域マネジメントプログラム及び人間健康科学コースの各プログラムで実施。金型・鋳造プログラムは、小論文を実施。

※5 高度農林業プログラム、水産業革新プログラム、地域経済総合プログラム、地域マネジメントプログラム及び人間健康科学コースの各プログラムでは筆記試験を実施。金型・鋳造プログラム、防災・まちづくりプログラム及び社会基盤・環境工学プログラムでは小論文を実施。

※6 地域経済総合プログラム、行動科学プログラムにおいて実施。

※7 防災・まちづくりプログラム、社会基盤・環境工学プログラムではプレゼンテーションを実施。